



# WING

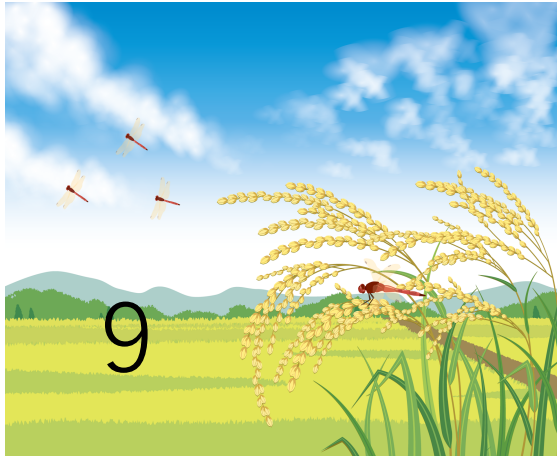
International Friendship "WING"

代表 和田 幸夫

国立市谷保7105-11

TEL: 090-3497-2110

## A はじめに



「外国人が選んだ尊敬する日本人」のTVを見ていて野口英世に敬意を示す外国の人達の言動に胸を打たれた。猪苗代湖のほとりにある野口英世記念館に野口英世を尊敬する外国人が大挙して訪れていた。

そこには英世が生まれた家そのまま保存されていて熱心な多くの外国人の姿があった。

「野口英世が赤ん坊の頃、あの囲炉裏に落ちて大やけどを負ったけれど、諦めずに勉強して医学の道に進み我々の先祖を救ってくれたのです」とガイドが話すと大きな拍手が起こった。この一行は南米エクアドルの人達だった。

遠く離れた南米からわざわざ日本に来るには理由があったのです。

1910年代、南米で高熱と黄疸が出る伝染病が流行し多くの犠牲者が出た。そのさなか野口英世がエクアドルに赴き、わずか9日間で病原菌を特定しワクチンを作り多くの子供たちの命を救いエクアドルで尊敬を集める存在になった。その偉業から今年でちょうど100年に当たり、野口英世ゆかりの地を巡るツアーまで企画されたそう。

参加していた駐日エクアドル大使が言う。エクアドル人にとって今でも大事な人です。首都キトには野口英世小学校や野口英世通りがある。英世生誕100周年には記念切手を発行。これはエクアドル国民が何時までも野口英世への感謝を忘れないようにとの思いからだ。

一行は記念すべき100周年に猪苗代湖でエクアドルの友情を示す花火を打ち上げた。一人の男性が「エクアドル人を助けてくれたから、今の私達がいるのです」の言葉が痛く胸に響いた。

このような野口英世に対する敬意の表れがペルー、メキシコ、ガーナ、アルゼンチン、そしてアメリカでもあることを知り、日本の子供たちにも広く知ってもらいたいと思うと同時に国際友好のあり方を考えさせられた次第です。

(和田 幸夫 記)

## B 今月の国際理解講座

日時 9月20日(木) 19:00~21:00 国立公民館3階・講座室

演題 異文化コミュニケーション

内容 スリランカの文化や留学体験談

講師 松井 美樹さん 一橋大学・経済学部2年生 (アイセック、WINGの学生部に所属)

所属の団体アイセックが企画した、スリランカでのコーヒーのマーケティングをするインターシップに短期留学。スリランカの文化やインターシップで学んだこと、気づいたこと等お話し頂きます。趣味は旅行で大学生の間に20ヶ国は訪ねたいそうです。

## C 10月の国際理解講座

日時 10月18日(第3木曜日) 19:00~21:00 会場 国立公民館を予定。

講座内容や講師は、現在未定でして決まり次第ご連絡いたします。